

# こえあみ瓦版

いわきのまちづくりビジョン、あなたの声で編む

2026年 5月号



制作 いわき 31 万人のまちづくり  
ビジョン策定プロジェクト  
発行 いわき市政企画課

## 一人ひとりの声から いわきのまちづくりビジョンを編む



プロジェクト開始時には、いわき市の内田市長と共に会見に参加

市制60年となる今年、いわきのこれからのまちづくりに向けて「旗印」となるようなビジョンを、一人ひとりの声で編んでいく。そんな願いを込めた「こえあみプロジェクト」という取り組みが昨年10月に始まり、現在、ビジョンづくりが進められています。

メンバーは25名。いわきを深く見つめている若者や市職員などが

ら構成されています。アンケート調査、内容を深掘りする聞き取りなどを通じて市民の声を数多く集め、勉強会などを実施していわきの歴史や文化を学びながら、具体的なビジョン文言を構想しているところです。

まちづくりビジョンって、なに？ 私たちが構想している「まちづ

くりビジョン」とは、いわきにおけるまちづくりの行動方針を言葉にしたもの。市民も市の職員も、こういうことを意識していきましょう、こんないわきにしていきたいよね、という願いを込めた「宣言」です。そのビジョンを、みんなが見上げる「旗」に見立て、みんなの声で編んでいくという決意を込めて「こえあみ」というプロジェクト名にしました。

まちづくりビジョンは、いわきのまちづくりの太い柱となるものであり、政策とも紐づけられていますので、一人でも多くの方の声を反映させていきたいと思っています。

### ビジョンづくりのこれまで

プロジェクト開始後にまず着手したのが、インターネットを通じたアンケート調査。いわきでの住み心地、課題感、将来への思いなどを伺い、およそ3000件のご意見をいただきました。

また、産業、観光、子育て、福祉などいくつかの領域に分け、当事者や事業者などに直接お話を聞きリサーチを進めてきました。おおよそ30団体を超える方々に、ビジョンの種となる言葉を伺いました。

これに加えて、地域の歴史研究者など多様なゲストを招いた勉強会を実施して、いわきの文化や歴史、そもそもまちづくりとはなにかという土台のどこからみんなが学び直しました。

そうしたリサーチや勉強会で得られた知見や言葉を共有し、具体的なビジョン文言を考える定例会も毎月行なっており、回を重ねるごとにビジョンの文言にも磨きがかかってきています。そして、2026年4月末、ビジョンの4つのキーワード案をまとめたところ

です。もちろんこれで決定ではなく、ギリギリまで言葉の検討は続いていきます。

### いわきの多様性、多核性

これまでのプロセスで改めて痛感したのが、いわきという土地の持つ多様性と多核性です。いわき市は、1966年に14もの市町村が合併してできた広域合併都市で

す。このため、合併直後から「一つになろう」という意識が強く働いてきました。

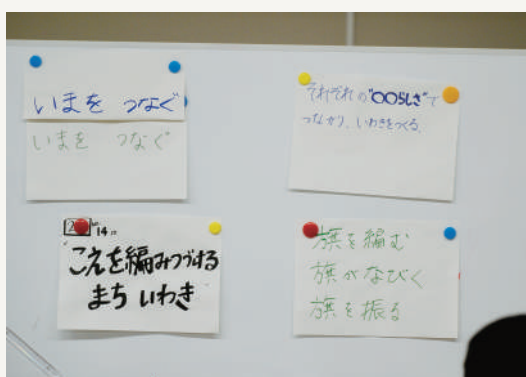
その一方で、これまでの聞き取りからは、いわき市が多核都市であり、さまざまな機能が分散するだけでなく、住民の多くが、平や小名浜、内郷や四倉といったそれぞれの地域への愛着を、合併後もずっと持ち続けていることが改めて見えてきました。

「らしさ」「でっかく、あみ続ける」そこで私たちが出した今のところの結論が、無理に一つにまとめるのではなく、それぞれの地域のよさを磨き上げていくこと、それ

ぞれの地域らしさ、私らしさを大切に、小さな声を聴き続けるまちづくりです。

4つの案に、「つなぐ」「やしき」「声を編みつつける」「旗を振る」といった言葉が出てきているのは、小さな取り組みを支え、歴史や思いをつなげていきたいという思いをメンバーで共有してきたからです。

これからのいわき市のまちづくりビジョンについて、皆さんはどう思いますか？ 足りない視点はありませんか？ ぜひお聞かせください。



これまでの検討会を経てメンバーから出されたビジョンのキーワード案。勉強会や聞き取りなどの成果を言語化し、議論を重ねた末に出されました



普段の検討会の様子。市役所を会場に毎月検討会を実施し、ビジョンを構想

裏面に続く



小宅先生の回では、いわき地域で続いた合併の歴史を学びました



「こえあみ」のこれまで
こえあみが力を入れてきたものの一つが、さまざまな専門家を招いた「こえあみ勉強会」です。初回は、元いわき市職員で、現在は地域史研究に尽力されている小宅幸一先生をお招きし、いわき市の合併にまつわる歴史を学びました。ここでもいわきの合併の複雑さや地域の多様性、多核性を再確認しました。

こえあみ年表

- 2025年 9月 いわき市政策企画課を中心に事務局発足
2025年 10月 メンバー決定⇨活動内容の検討
2026年 1月 聞き取り・リサーチ開始
2026年 2月 こえあみ勉強会スタート
2026年 3月 ビジョンの文言の検討開始
2026年 4月 ビジョンのキーワード案の決定
2026年 5月 地区ワークショップ実施 (市内13ヶ所)
2026年 10月 ビジョン決定、発表

や旧勿来市など)。小宅先生からは、合併を繰り返したことで地域の歴史や文化、合併のそもそもの難しさが忘れられ、まちづくりから歴史の継承という視点が失われてしまったのではなにかという指摘がありました。ここで学んだ「歴史を引き継ぐ」という視点を、私たちは大切にしていきたい。

進め方、まちづくりにおける「言葉」の役割などをそれぞれから学び、現在のビジョン検討に役立てられています。また、これまでの活動を簡単に年表にまとめてみました。これからは、住民参加型ワークショップを実施し、言葉に磨きをかけていきます。活動の様子は、こえあみのSNSでも発信しています。ぜひチェックしてみてください。右のQRコードからジャンプしてご覧いただけます。

これまでの活動報告を『note』にてレポート(上) / いわき市公式ホームページ(下)



勉強会での学びが、ビジョンづくりにつながっています



ワークショップの日程 来てくんちえ～

Table with 4 columns: 日にち, 時間, 地区, 会場. Rows include dates from 5月16日 to 6月6日 and various locations like 小名浜, 常磐, 勿来, etc.

地区ワークショップ 開催のお知らせ!

このたび出されたキーワード案をたたき台としながら、いわき市にお住まいの皆さんからご意見を伺い、不足している視点などを改めて伺い、ビジョン案をさらによいものとするための「いわき13地区のこえあみワークショップ」を開催することとなりました。このワークショップというのは、あるルールに従って進められるお話し会。合計13回、

みんなでしゃべっぺ!

いわき市内13地区にある公民館などを会場としております。お住まいの地区の会場ではなくても参加は可能です。複数の参加も大歓迎。ぜひご参加いただき、ビジョンに必要な視点を教えてください!

また、ワークショップでは話にくい、伝えたい言葉があるという方も、アンケートフォームやメールにて、あなたの思いを聞かせてください。場合によっては、メンバーが直接、お話を伺いに参ります。話に耳を傾けること、そこで出た言葉をビジョンに活かすことを、しっかりと続けていきたいと思えます。ぜひあなたの声で、ビジョンという旗を一緒に編んでいきましょう!

ワークショップのお申し込み&お問い合わせ

いわき市総合政策部政策企画課

☎ 0246-22-1216

✉ seisakukikaku@city.iwaki.lg.jp



申込フォーム